

2024年12月4日

Press Release

大韓航空とコミーは航空機用ミラー設置で合意

韓国大手の大韓航空（本社：ソウル、KE/KAL、代表取締役社長 趙源泰）とコミー株式会社（本社：埼玉県川口市、代表取締役社長 小宮山 哲）は、大韓航空の保有する航空機（158機）全機内のギャレーにコミー製のミラーを設置することで合意に達したことをお知らせいたします。受注したミラーは機内のギャレーへの設置が完了しました。

大韓航空は2012年よりコミー製ミラーを導入し、機内手荷物収納棚に設置しています。その後も新機材導入の度に新規受注を受ける関係を構築しております。

大韓航空は、業務の質を向上させるために職員からのヒアリングを行なっています。このヒアリングからギャレーにある高所ロッカー内を目視で確認するために、客室乗務員が無理な姿勢で業務を行っていることがわかり、2023年7月にコミーは「ミラーで解決できないか」と相談を受けました。

そこでコミーは、ギャレーのロッカー内が見えるように設計したミラーを数種類提案。視野の確認作業をしていただき、この度、大韓航空の運航する全158機への納入を済ませることができました。

これまで手荷物収納棚用ミラー以外には、客室視認用のミラーの納入実績はありましたが、今回の大韓航空への導入で新たな用途を開発することができました。過去にも、他のエアラインの一部の機体で類似の要望はありましたが、保有機すべてを対象に、対策の必要な高所ロッカーを全面的に対策する、という事例はありませんでした。

客室乗務員の職場環境向上に取り組む大韓航空の姿勢は今後、多くのエアラインでも重視されるようになることと考えられます。

コミーは航空機の安全・安心の運航が維持されるよう、引き続き商品の品質向上に努めるとともに、航空会社のお困りごとを聞きながら、ミラー以外の商品開発も積極的に進めてまいります。

コミー株式会社のお役立ち商品を是非お試しください。

この記事に関するお問い合わせ先：営業部 後関 実 e-mail : info@komy.co.jp

■大韓航空について

55年以上にわたり世界中にサービスを提供している大韓航空は、世界のトップ20に入る航空会社であり、2019年には年間2,700万人以上の旅客を輸送しています。仁川国際空港（ICN）をグローバルハブとして、159機の近代的な航空機と2万人を超える専門的な従業員を擁し、5大陸40カ国111都市に就航しています。

大韓航空の卓越した業績と最高レベルの安全性と顧客サービスに対するコミットメントは広く認められています。スカイトラックス社による5つ星航空会社評価、エア・トランスポート・ワールド社によるエアライン・オブ・ザ・イヤー、カーゴ・オペレーター・オブ・ザ・イヤーなど、数々の賞を受賞しています。

